

The three layered structure of orbicularis oris and buccinator complex with partial connection at the modiolus and partial direct continuation

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2024-09-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石井, 益子 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003735

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2554 号

The three layered structure of orbicularis oris and buccinator complex with partial connection at the modiolus and partial direct continuation

口輪筋と頬筋との複合体は3層構造で、一部はモダイオラスで連続し、一部は直接連続する

石井 益子 (いしい ますこ)

博士 (医学)

論文内容の要旨

本研究は、口輪筋、頬筋、その他の口周辺の筋とモダイオラス（口角結節）について、その構造を明らかにすることを目的とする。明らかになった構造に基づいた模式図を作成し、想定される筋の動きを説明するものである。

順天堂大学に献体された 17 体のご遺体の表情筋を原位置、および骨格から筋を取り外した剥離標本を作成し、浅層と深層から観察を行った。

頬筋・口輪筋についての教科書の記述は、古い記述と Lightoller の研究に基づいている。前者では、頬筋は、口角で上下が交叉し、口輪筋に連続するとされ、後者では、頬筋・口輪筋はモダイオラスで中断するとされる 2 つの記述が混じる。また、モダイオラスは口角横に位置し、深層で口腔粘膜に付着するとされる。

本研究によると、頬筋は、浅層にある上位・下位斜走部、深層にある中位横走部の 3 部から成っていた。口輪筋は上唇と下唇に分布し（以下、それぞれ上唇口輪筋、下唇口輪筋と称する）、それぞれ口唇周辺の内周部とより外周に位置する外周部から成っていた。頬筋・口輪筋を含む口唇周辺の筋は 3 層から成っていた。最浅層の 1 層目は、口角下制筋と上唇口輪筋の外周部から成り、モダイオラス経由で垂直方向に連続した。2 層目は、頬筋の上位・下位斜走部と外周部の下唇口輪筋から成り、モダイオラス経由で水平方向に連続した。最深層である 3 層目は、頬筋の中位横走部と上唇・下唇口輪筋の内周部と下唇口輪筋の外周部から成り、モダイオラスを経由せず直接連続した。さらに、モダイオラスの位置は、今まで述べられていたように口角横に位置するのではなく、口角から下顎下縁の高さ約 1/3 の範囲に見られた。モダイオラスの位置が口角横から下がったことは、頬筋の上位・下位斜走部がモダイオラスを経由して下唇口輪筋の外周部へ連続したことと、口角周辺の筋束が口裂に対し垂直方向に非対称であった結果に関連していた。

本研究で明らかにされた頬筋・口輪筋の連続性、その他の口唇周辺の筋の走行、上唇・下唇の筋束の量の非対称性は、口唇の開閉や幅を狭めたり広げたりする動きを正確に説明する根拠となると示唆される。